

The study environment matters too. The (10) students arrange their space affects how well they can focus, while a noisy room may divide their attention. Messages from friends are especially harmful because they make students stop and start their thinking repeatedly. Even a short interruption can leave an idea only partly (11).

Sleep is another factor that students often forget. During sleep, the brain organizes memories, (12) are then easier to recall later. Students who sleep too little may (13) remember facts less (14), even after spending many hours on review.

In short, successful study is not simply a matter of sitting longer. It requires careful choices, regular breaks, and a learner who (15) errors soon after making them. Good learners are not those who study endlessly, but those who know how to use their attention well.

選擇肢

- | | | | |
|--------------|------------|---------------|-----------|
| ① understood | ② because | ③ reviews | ④ what |
| ⑤ way | ⑥ still | ⑦ effectively | ⑧ improve |
| ⑨ little | ⑩ although | ⑪ however | ⑫ noticed |
| ⑬ useful | ⑭ which | ⑮ reading | |

解答

(1) ⑩ although (2) ⑮ reading (3) ⑬ useful (4) ② because (5) ⑪ however (6) ④ what (7) ⑫ noticed (8) ⑨ little (9) ⑧ improve (10) ⑤ way (11) ① understood (12) ⑭ which (13) ⑥ still (14) ⑦ effectively (15) ③ reviews

解答解説

(1) 正解⑩ although 前半の「長時間勉強する」と後半の「集中力が弱まる」は逆接関係です。although は「～だけれども」という譲歩を表す副詞節を導く接続詞です。後ろには SV を含む完全な節 their concentration often becomes weaker が続いています。

(2) 正解⑮ reading while reading a textbook の形です。while + Ving は「～している間」という分詞構文の省略形です。元の形は while the student is reading a textbook です。reading は現在分詞で、主語 a student と能動関係になります。

(3) 正解⑬ useful method は名詞なので、その前には形容詞が必要です。useful method「有用な方法」となります。品詞判断問題です。

(4) 正解② because「失敗すると落胆するのでテストを避ける」という因果関係です。because は理由を表す副詞節を導きます。後ろの mistakes make them feel disappointed は SVOC の第5文型です。make O C = 「O を C の状態にする」 them = O disappointed = C です。

(5) 正解⑪ however 前文では「テストを避ける」、後文では「間違いは有益」という逆方向の内容になっています。そのため、逆接を表す接

続副詞 however が適切です。接続詞ではないため、後ろにカンマが置かれています。

(6) 正解④ what show students what S V = 「生徒に何を～か示す」という形です。what は「～すること」という意味を含む関係代名詞です。

what they have not fully understood yet「彼らがまだ十分理解していないこと」となります。

(7) 正解⑫ noticed are not noticed は受動態です。be 動詞 + 過去分詞の形になっています。these points は「気づく」のではなく「気づかれる」側なので、過去分詞 noticed が適切です。

(8) 正解⑨ little attention は不可算名詞です。そのため few ではなく little を用います。little attention 「ほとんど注意がない」という意味です。可算・不可算の識別がポイントです。

(9) 正解⑧ improve can also の後ろなので動詞の原形が必要です。improve blood flow は第3文型 SV O で、「血流を改善する」という意味になります。

(10) 正解⑤ way the way S V = 「S が V する方法」という重要表現です。The way students arrange their space「生徒が空間を整える方法」となります。way の後ろでは関係副詞 that / in which が省略されています。

(11) 正解① understood leave + O + C の第5文型です。leave an idea partly understood 「考えを部分的に理解された状態のままにする」という意味になります。understood は過去分詞で、an idea と受動関係にあります。

(12) 正解⑭ which

which は memories を先行詞とする非制限用法の関係代名詞です。memories, which are then easier to recall later で、「その記憶は後で思い出しやすい」という補足説明になります。

(13) 正解⑥ still

still は副詞で、「まだ・それでも」の意味です。助動詞 may の後、一般動詞 remember の前に置かれています。may still remember 「まだ覚えているかもしれない」という語順が重要です。

(14) 正解⑦ effectively

remember を修飾する副詞が必要です。effectively 「効果的に」が適切です。less effectively 「あまり効果的に～ない」という比較表現になっています。

(15) 正解③ reviews

who reviews errors は関係代名詞節です。先行詞は a learner (単数) なので、動詞は三単現の reviews になります。review errors 「誤りを復習する」という動詞句です。

全訳

多くの生徒は、長く勉強すれば必ずよりよい結果につながると考えている。何時間も机に向かうことはあるが、しばらくすると集中力が弱まってしまうことが多い。したがって、効果的な学習は、時間だけでなく、その時間がどのように使われるかにも左右される。

よくある間違いの一つは、同じページを何度も読み続けることである。これにより内容は見慣れたものに感じられるが、見慣れていることは理解と同じではない。生徒は教科書を読んでいる間は安心するかもしれないが、後で中心となる考えを説明できないことがある。本当の理解は、生徒がその考えを自分の言葉で表せるようになって

たときに始まる。

練習テストもまた有用な方法である。間違いをするとがっかりするため、テストを避ける生徒もいる。しかし、間違いは弱点についての貴重な情報を与えてくれる。それは、生徒がまだ十分に理解していないことを示してくれる。もしこれらの点に早く気づかなければ、同じ間違いが再び現れるかもしれない。

休憩も重要である。脳は長時間、完全な注意力を保つことはできない。休まずに作業を続けると、生徒はほんのわずかな注意力しか残っていない状態で何分も過ごすことになるかもしれない。短い休憩は、特に軽い運動を含む場合、心を再びすっきりさせることができる。そのような運動は血流を改善し、疲労を減らすこともできる。

学習環境も重要である。生徒が自分の空間を整える方法は、どれだけ集中できるかに影響する一方で、騒がしい部屋は注意を分散させる可能性がある。友人からのメッセージは特に有害である。なぜなら、それらは生徒に思考を何度も中断させたり再開させたりするからである。短い中断でさえ、考えを部分的にしか理解されていない状態にしてしまうことがある。

睡眠は、生徒がしばしば忘れがちなもう一つの要素である。睡眠中、脳は記憶を整理し、その記憶は後で思い出しやすくなる。睡眠が少なすぎる生徒は、復習に多くの時間を費やした後でさえ、事実をまだ効果的には思い出せないかもしれない。

要するに、成功する学習は、単に長く座っていることの問題ではない。それには、慎重な選択、定期的な休憩、そして間違いをした後すぐに復習する学習者が必要である。よい学習者とは、際限なく勉強する人ではなく、自分の注意力をうまく使う方法を知っている人である。